



何かに情熱を注いでいる方を紹介します

中山さんのインタビュー動画はこちら↓

私と油絵 中山 以佐夫さん (緑甲)



愛媛CATV
動画

“主役が際立つような油絵を描いていきたい”

自宅倉庫2階に設けたアトリエで趣味の油絵制作に取り組んでいる中山以佐夫さん。子どもの頃から絵が好きで、ずっとやりたと思っていた油絵を50歳を過ぎてから本格的に始めました。

中山さんが「忘れもしない」と話す平成11年4月、宇和島市の画廊で油絵道具を購入し、初めて油絵を描いたところ、思うように描けなかったことがやる気につながったと言います。それ以来、家族と過ごす時間を大切にしながらも、仕事が終わった後や連休中などの時間を使って油絵を描き続けてきました。

初めはグループに所属せず個人で制作に取り組み、美術館を訪れるなど独自に勉強を重ねて技術を高めてきました。やがてNPO法人地域美術展協会が主催し地域と連携して開催する全国公募展「地域を描く絵画展」などに参加することで、同じ趣味を持つ方との交流も増えてきました。

昨年11月には「公募第47回近代日本美術協会展」(一般社団法人近代日本美術協会主催)において、「二子落の風景」と題した油絵が一般公募部門の最高位に当たる近代日本美術大賞を受賞するなど、専門家からも実力を認められています。

「全体を描きながらも、主役の一点を基準にそれを際立たせるような油絵が描きたい」と話す中山さんは今後の目標について、「風景画を中心にいろんなものを描いていきたい」と語りました。



【中山以佐夫さんのプロフィール】

- ・昭和23年生まれ。
- ・平成11年にずっとやりたかった油絵を本格的に始める。
- ・令和2年に「公募第47回近代日本美術協会展」の一般公募部門で最高位に当たる近代日本美術対象を受賞。
- ・現在は公募第37回「地展」香川県善通寺市を描く絵画展(7月作品募集締め切り)に向けて出品作品を仕上げている。

編集後記

小中学校の卒業式や入学式、長崎保育所の休園式取材しました。

春は別れと終わりの季節でもありますが、新たなスタートを切る始まりの季節でもあります。

学生たちを見ていて寂しくもあり、楽しみであったのも思い出しました。

私は広報担当3年目ですが、気持ちを新たに頑張っていきたいと思えます。

4月から広報あいなんの担当になりました。慣れないことばかりで、

写真や文章を書くことの難しさを痛感しています。福浦小学校の入学式で、新1年生のきらきらした笑顔の写真を撮っているとき、町民の皆さんが笑顔になれる広報紙を作りたいなど思いました。

今後は町民の皆さんの笑顔を一枚でも多く写真に収めていきたいと思えます。

Y.O

M.O

愛南町の世帯数と人口
令和3年4月1日現在

世帯数	10,154世帯 (-22世帯)
人口	20,300人 (-120人)
男	9,622人 (-38人)
女	10,678人 (-82人)
愛南町の高齢化率	44.8%
※ () 内は前月比	
●10年前 同月の人口	25,039人

編集・発行

愛南町役場 総務課 〒798-4196 愛媛県南宇和郡愛南町城辺甲 2420 番地 電話：(0895)72-1211 FAX：(0895)72-1214
<https://www.town.ainan.ehime.jp/>